

豊南町の大木クスノキと その周辺を訪ねて



クスノキの大木



目いぼの渡し

明治 43 年に現在の阪急電鉄が開業してから、豊中市域は大阪市のベッドタウンとして発展してきました。明治末期頃まで、神崎川は渡し船が運航されており、今でも「目いぼの渡し」として碑が残されています。この渡し場のすぐ近くにあり、当時は遠方から来る船や神崎川を渡る人々の目印となっていたクスノキが、令和 2 年に豊中市の「都市景観形成建築物等」に指定されました。

今回は、この「渡場のクスノキ」をめざして、豊南町とその周辺を訪ねます。豊南町の一部は風致地区（都市の自然的景観や歴史的意義を持つ区域）として指定されており、そうした自然と歴史のある町、豊南町と一緒に探訪しませんか。みなさまのご参加をお待ちしております。

日 時： 2026年3月17日（火）9：30～12：00

小雨決行

集合場所： 阪急庄内駅東出口

定 員： 25人

服 装： 長袖、長ズボン、歩きやすい靴、日よけ帽子

持 ち 物： 飲み物

申 込 み： 3月15日（日）までにアジェンダ21へ（先着順）

電 話： 06-6844-8611（環境交流センター内）

主 催： NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会

（この事業は豊中市立環境交流センター指定管理事業として実施します）